

2. 花巻市消防本部発足とあゆみ

(1) 常備消防機関の沿革

年 月	記 事
昭和27年 4月	花巻町消防団常備部が誕生
昭和29年 4月	花巻町、湯口村、湯本村、矢沢村、宮野目村、太田村の1町5ヶ村が合併、花巻市となり消防本部、消防署を設置
昭和30年 7月	笹間村を合併する
昭和33年 3月	消防庁舎を城内1-43に新築
昭和43年12月	救急業務を開始
昭和48年 6月	花巻空港の警備を開始
昭和49年 3月	花巻市消防本部、消防署廃止

(2) 花巻地区消防事務組合の発足とあゆみ

- 組合の組織 花巻市、石鳥谷町、東和町、大迫町の1市3町をもって組織する
- 組合の共同処理する事務 関係市町の消防に関する事務、ただし消防団に関する事務及び消防水利に関する事務を除く

年 月	記 事
昭和49年 4月	1本部、1署、3分署の組織で発足 石鳥谷町、東和町、大迫町に分署開設、消防、救急業務開始 職員13名採用（条例定数99名、実員66名）
8月	職員12名採用（条例定数99名、実員78名）
昭和50年 3月	石鳥谷、東和、大迫の各分署庁舎落成
4月	職員6名採用（条例定数99名、実員84名）
5月	消防相互応援に関する協定（県内14消防本部）
昭和51年 4月	職員6名採用（条例定数99名、実員90名）
8月	消防庁舎（消防本部、署）建設事業着手
昭和52年 4月	職員10名採用。（条例定数99名、実員99名）
11月	花巻温泉分遣所庁舎落成、業務開始 東北自動車道供用開始に伴う救急業務を開始 東北自動車道相互応援協定（盛岡、北上、胆沢、両磐）
昭和53年 2月	職員定数条例改正103名となる
7月	消防本部、署新庁舎落成、業務開始
昭和54年 4月	職員5名採用（条例定数103名、実員102名）
昭和56年 4月	職員3名採用（条例定数103名、実員103名）
昭和58年 4月	職員2名採用（条例定数103名、実員103名）
昭和59年 9月	日本消防協会より救急自動車贈呈される（東和分署）
昭和60年10月	石鳥谷分署、車庫増築

昭和61年	4月	職員1名採用(条例定数103名、実員102名)
	12月	東和分署庁舎移転落成
昭和62年	8月	日本消防協会より救急自動車贈呈される(花巻温泉分遣所に配置)
昭和63年	4月	職員3名採用(条例定数103名、実員103名)
平成元年	10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ車贈呈される
	12月	職員定数条例改正110名となる
平成2年	4月	職員7名採用(条例定数110名、実員108名)
	10月	花巻南温泉分遣所庁舎落成、業務開始
平成3年	4月	職員2名採用(条例定数110名、実員110名)
平成4年	2月	消防本部通信指令室改修
	3月	消防緊急通信指令施設導入(Ⅱ型)運用開始
	11月	職員定数条例改正120名となる
平成5年	4月	職員8名採用(条例定数120名、実員114名)
	5月	救急救命士免許取得1名(第1号)
	11月	花巻空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
平成6年	4月	職員4名採用(条例定数120名、実員115名)
	10月	組合発足20周年記念式典実施
	11月	救急救命士免許取得1名(計2名)
平成7年	4月	職員5名採用(条例定数120名、実員120名)
		高規格救急自動車運用開始(消防署)
	9月	石鳥谷分署及び大迫分署の救急車改造並びに高度救命資機材整備
	10月	石鳥谷分署、東和分署及び大迫分署の気象観測機器更新整備
	11月	職員定数条例改正143名となる
		救急救命士免許取得1名(計3名)
		岩手県緊急消防援助隊発足(救急部隊登録)
		防災講演会開催(社団法人日本損害保険協会共催)
平成8年	2月	消防署に小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)を更新配置。
	3月	東和分署に高規格救急自動車を配置
	4月	職員10名採用(条例定数143名、実員127名)
	5月	救急救命士免許取得1名(計4名)
	6月	花巻空港福岡線開設
	10月	岩手県防災ヘリコプター応援協定
	11月	救急救命士免許取得2名(計6名)
平成9年	2月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を配置
	4月	職員7名採用(条例定数143名、実員133名)
	10月	石鳥谷分署に指令車を更新配置
	11月	救急救命士免許取得1名(計7名)
		消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型を更新配置
平成10年	3月	大迫分署に高規格救急自動車を配置
	4月	職員7名採用(条例定数143名、実員138名)

	5月	救急救命士免許取得1名(計8名)
	7月	消防本部に査察車を更新配置
	11月	救急救命士免許取得2名(計10名)
	12月	消防署に災害対応特殊高規格救急自動車配置
平成11年	1月	石鳥谷分署に高規格救急自動車を配置
	4月	職員2名採用(条例定数143名、実員139名)
	11月	救急救命士免許取得1名(計11名)
	12月	消防署に救助工作車を更新配置(社団法人日本損害保険協会寄贈)
平成12年	4月	職員4名採用(条例定数143名、実員142名)
	5月	救急救命士免許取得1名(計12名)
	11月	救急救命士免許取得1名(計13名)
	12月	石鳥谷分署に水槽付消防ポンプ自動車A-II型を更新配置
平成13年	3月	防災講演会開催(花巻市等の共催)
	4月	職員3名採用(条例定数143名、実員143名)
	5月	救急救命士免許取得1名(計14名)
	11月	救急救命士免許取得1名(計15名)
平成14年	4月	条例定数143名、実員142名
	5月	救急救命士免許取得1名(計16名)
	12月	救急救命士免許取得1名(計17名)
平成15年	4月	職員5名採用(条例定数143名、実員143名)
	5月	救急救命士免許取得1名(計18名)
平成16年	3月	消防本部に高機能消防指令センター開所 花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を配置 消防事務組合発足30周年記念式典を実施 消防署に高規格救急自動車を更新配置 花巻空港化学消防自動車操作委託業務契約終了
	4月	職員3名採用(条例定数143名、実員143名) 緊急消防援助隊登録(消火部隊)
	5月	救急救命士免許取得1名(計19名)
平成17年	4月	条例定数143名、実員142名
	10月	救急救命士免許取得1名(計20名) 東和分署に高規格救急自動車を更新配置
	12月	花巻温泉分遣所に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車II型を更新配置 大迫分署に水槽付消防ポンプ自動車II-A型を更新配置 花巻地区消防事務組合解散式を挙

(3) 花巻市消防本部の発足

年 月	記 事
平成18年 1月	花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が合併し、新「花巻市」が誕生 花巻市消防本部発足（条例定数143名、実員142名）
4月	職員1名採用（条例定数143名、実員143名）
10月	救急救命士免許取得1名（計21名）
平成19年 4月	職員4名採用（条例定数148名、実員143名） 緊急消防援助隊登録（消火部隊、化学車隊）
10月	救急救命士免許取得者2名（計23名）
平成20年 3月	消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅲ型を更新配置
4月	職員5名採用（条例定数148名、実員146名）
4月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊）
6月	岩手宮城内陸地震発生に伴い、相互応援協定により被災地に救急隊出動
8月	救急救命士免許取得者2名（計25名）
10月	花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成21年 2月	災害後方支援車を新規配置
3月	花巻温泉分遣所 新庁舎落成
4月	職員6名採用（条例定数148名、実員145名）
7月	救急救命士免許取得者2名（計27名）
12月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成22年 4月	職員10名採用（条例定数148名、実員145名）
5月	大迫分署に高規格救急自動車を更新配置
7月	救急救命士免許取得者3名（計30名）
12月	花巻中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ-A型を更新配置 水槽付消防用自動2輪車を新規配置
平成23年 3月	東日本大震災に伴い釜石・大槌地区に救急隊応援派遣 石鳥谷分署移転新築整備 消防署第2車庫新築整備 消防署救急専用室整備
4月	組織改編により花巻中央消防署、花巻北消防署の2署体制とする。 職員4名採用（条例定数148名、実員145名）
6月	救急救命士免許取得者2名（計32名）
12月	花巻北消防署に高規格救急自動車を更新配置
平成24年 2月	花巻中央消防署に救助工作車を更新配備
3月	大迫分署移転新築整備
4月	職員3名採用（条例定数148名、実員146名）
7月	救急救命士免許取得者2名（計34名）
12月	花巻中央消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成25年 3月	災害後方支援資機材搬送車を総務省消防庁より無償貸与

	4月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊） 職員4名採用（条例定数148名、実員148名）
	7月	救急救命士免許取得者1名（計36名）
平成26年	4月	職員11名採用（条例定数148名、実員148名）
	6月	救急救命士免許取得者2名（計37名）
	11月	救急救命士免許取得者1名（計38名）
平成27年	4月	職員5名採用（条例定数148名、実員148名）
	7月	救急救命士免許取得者1名（計39名）
	11月	消防救急デジタル無線運用開始
平成28年	4月	職員8名採用（条例定数148名、実員148名）
	7月	救急救命士免許取得者1名（計38名）
	11月	救急救命士免許取得者1名（計39名）
	12月	救急救命士免許取得者1名（計40名）
平成29年	1月	救急救命士免許取得者1名（計41名）
	3月	花巻北消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型を新規配置 花巻中央消防署に消防指揮自動車を更新配置
	4月	職員8名採用（条例定数148名、実員147名）
	7月	救急救命士免許取得者2名（計43名）
平成30年	2月	花巻北消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
	4月	職員4名採用（条例定数148名、実員147名）
	9月	北海道胆振東部地震に伴う緊急消防援助隊統合機動部隊及び後方支援隊の派遣
	12月	救急救命士免許取得者2名（計42名）
平成31年	1月	花巻北消防署に消防指揮自動車を更新配置
	4月	職員7名採用（条例定数148名、実員146名） 救急救命士免許取得者3名（計43名）
令和2年	2月	花巻中央消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
	4月	定数条例改正（148名から151名） 職員5名採用（条例定数151名、実員146名）
令和3年	3月	花巻中央消防署にはしご車を更新配備
	4月	職員6名採用（条例定数151名、実員146名）

(4) 歴代消防長・消防署長

消防長

氏 名	在 職 期 間
菊池 武	昭和49年4月1日 ～ 昭和54年3月31日
池田 倉蔵	昭和54年4月1日 ～ 昭和57年3月31日
柳田 満	昭和57年4月1日 ～ 昭和61年3月31日
佐藤 金一	昭和61年4月1日 ～ 平成元年3月31日
本館 源吾	平成元年4月1日 ～ 平成3年3月31日
村田 祥	平成3年4月1日 ～ 平成6年3月31日
佐藤 清	平成6年4月1日 ～ 平成8年3月31日
宮森 誠悦	平成8年4月1日 ～ 平成10年3月31日
平賀 博	平成10年4月1日 ～ 平成12年3月31日
高橋 文雄	平成12年4月1日 ～ 平成14年3月31日
大木 直義	平成14年4月1日 ～ 平成16年3月31日
堀岡 正康	平成16年4月1日 ～ 平成18年3月31日
高橋 敏知	平成18年4月1日 ～ 平成19年3月31日
平賀 敏夫	平成19年4月1日 ～ 平成21年3月31日
伊藤 勝男	平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日
菊池 定雄	平成22年4月1日 ～ 平成24年3月31日
瀬川 泰正	平成24年4月1日 ～ 平成26年3月31日
石崎 信彦	平成26年4月1日 ～ 平成28年3月31日
照井 博美	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
小田島 満	平成29年4月1日 ～ 平成31年3月31日
笹間 利美	平成31年4月1日 ～ 令和3年3月31日
岡田 弘康	令和3年4月1日 ～ 現在に至る

消防署長

氏 名	在 職 期 間
葛尾 清幸	昭和49年4月1日 ～ 昭和55年6月3日
菊池 茂夫	昭和55年6月16日 ～ 昭和63年3月31日
太田 昭	昭和63年4月1日 ～ 平成2年3月31日
佐藤 清六	平成2年4月1日 ～ 平成5年3月31日
白藤 敬造	平成5年4月1日 ～ 平成8年3月31日
伊藤 清蔵	平成8年4月1日 ～ 平成11年3月31日
久保田 芳男	平成11年4月1日 ～ 平成12年3月31日

古川 浩	平成12年4月1日	～	平成13年3月31日
高橋 功	平成13年4月1日	～	平成14年3月31日
照井 順三	平成14年4月1日	～	平成15年3月31日
藤井 直美	平成15年4月1日	～	平成16年3月31日
伊藤 勝男	平成16年4月1日	～	平成19年3月31日
菊池 定雄	平成19年4月1日	～	平成22年3月31日
畠山 誠	平成22年4月1日	～	平成23年3月31日

花巻中央消防署長

氏名	在職期間		
畠山 誠	平成23年4月1日	～	平成25年3月31日
梅木 富雄	平成25年4月1日	～	平成26年3月31日
小原 司	平成26年4月1日	～	平成28年3月31日
戸来 清彦	平成28年4月1日	～	平成31年3月31日
照井 博幸	平成31年4月1日	～	現在に至る

花巻北消防署長

氏名	在職期間		
(兼)菊池 定雄	平成23年4月1日	～	平成23年4月30日
石崎 信彦	平成23年5月1日	～	平成24年3月31日
梅木 富雄	平成24年4月1日	～	平成25年3月31日
高橋 千代志	平成25年4月1日	～	平成27年3月31日
浅沼 清孝	平成27年4月1日	～	平成28年3月31日
田井 正一	平成28年4月1日	～	平成29年3月31日
多田 成樹	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
桐田 守朗	平成30年4月1日	～	令和2年3月31日
藤原 秀孝	令和2年4月1日	～	現在に至る